

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

ミッション

市民生活の向上と地域社会の発展に貢献し続ける。くらしを豊かにするプラットフォームへ進化し、新たな価値創造事業会社として生まれ変わる。

連結営業利益
65億円

ROE
9.0%以上

連結配当性向
30%

② 中長期の経営戦略

1. あべのハルカス近鉄本店リモデル

4年間で全館10万㎡の約3割をリモデル。顧客層拡大・次世代顧客獲得を図り、価値創造百貨店へ進化。

3. 全社顧客戦略推進

近鉄グループ顧客ID統合活用。富裕層対応強化でプレミアムサロン新設。外売上高を2024年度から約2割増まで伸ばす計画。

2. あべの・天王寺エリア魅力最大化

4年間で100億円投資。あべのハルカス近鉄本店のほかHoop・andもリモデル。2025年7月に医療モール開業予定。

4. 人的資本経営への投資

2027年度に人事制度抜本改革。2025年度より新規事業提案制度実施。4年間で約40億円の人的資本投資計画。

③ 対処すべき課題

① 事業環境変化への対応

- ・生産年齢人口減少と超高齢化への対応
- ・消費の二極化・デジタル化への対応
- ・インフレ・金利上昇への対応

② サステナビリティ推進

- ・地域共創の実現（路シリーズ展開、いちご・マンゴー生産販売）
- ・地球環境への貢献（店舗横断プロジェクト活動）
- ・個人と企業の相互の絆と成長（働き方改革、2025年3月カスタマーハラスメント基本方針策定）

③ 新事業ポートフォリオ構築

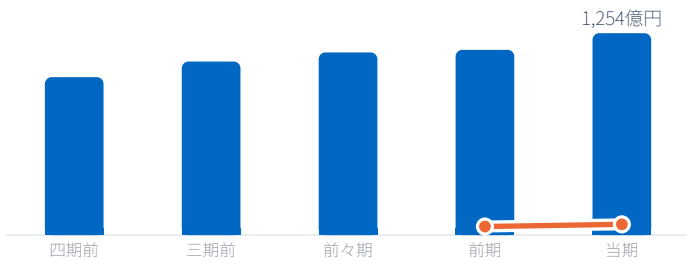
- ・グループ会社を核とした食品製造・小売事業参入
- ・建装事業の強化拡大
- ・法人外商・自主事業の拡大

面接で使えるポイント

- ・2036年創業100周年へ向け、あべのハルカス近鉄本店のリモデルと4年間で100億円のあべの・天王寺エリア投資で新たな価値創造百貨店へ進化
- ・近鉄グループ力を活かし、百貨店事業のみならず食品製造や農業事業（いちご『はるかすまいる』…）
- ・4年間で約40億円の人的資本投資と約20億円のDX投資により…

証券コード 8244

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
1,254億円営業利益率
5.4%財務健康度
35点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 39.3（当サイト算出の参考指標）

平均年収
520万円

小売業内 199位/318社

平均年齢
46.9歳

小売業内 60位/318社

平均勤続
22.2年

小売業内 11位/318社

女性管理職
12.6%

小売業内 124位/250社

男性育休
75.0%

小売業内 102位/193社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考:【あべのハルカス近鉄本店】土用の丑の日 | 株式会社近鉄百貨

